



苫小牧市議会議員
小山 征三

通信

『夏』号
2026年 7月

小山せいぞう事務所

苫小牧市ときわ町1丁目19-23

TEL 0144 (67) 8255

◆◆◆ 千葉県鎌ケ谷市から北海道へ移転 ◆◆◆

日ハム2軍本拠地は恵庭市に決定！

北海道日本ハムファイターズ2軍施設の誘致については、昨年9月25日に苫小牧商工会議所が事務局となり「誘致する会」が結成され署名活動を展開してきました。これまでにファイターズの新たな育成の拠点となる自治体として表明したのは苫小牧市、恵庭市、江別市で地元の熱意を伝え誘致活動を行ってきました。



本市議会では、昨年の12月定例会から機運醸成の一環として議員、理事者共にファイターズのユニフォーム姿で審議する取り組みを始めました。昨年7月7日に2軍本拠地を千葉県鎌ケ谷市から北海道へ移転させる意向を表明してから各市で誘致活動が続いていましたが、本年7月2日にエスコンフィールド北海道で行われた球団と関係会社による会見で、恵庭市を移転先に内定したと発表しました。選定の理由としては、恵庭市の候補地が40ヘクタールを超える広大な土地であり、野球場だけではなく商業地や住宅なども含めて一体的に開発できる点が高く評価されたとなりました。

恵庭市議会は、本年6月12日に西島松地区開発のための土地取得費15億3千万円を盛り込んだ本年度土地取得事業特別会計補正予算案を定例会で可決しました。また、江別市長は会見で誘致先を飛鳥山公園周辺に言及して来ましたが、苫小牧市は具体的な土地や再開発の場所については公表してきませんでした。残念ながらここが決め手となったかも知れません。

決め手は何か？

今後、新施設はJR恵み野駅と島松駅の間に位置する約46ヘクタールの用地を整備し、具体的な計画を詰め2028年中に着工し、遅くとも31年の開業を目指すとなりました。恵庭市に決まったことは期待を込めて応援していきましょう！

児相苫小牧分室に虐待一時保護機能

7月から民間事業者に委託

北海道は6月19日、虐待を受けるなどした児童を一時保護する機能を室蘭児童相談所苫小牧分室に持たせるため、7月から苫小牧市内の民間施設に児童の常時受け入れを委託することを明らかにしました。

苫小牧市子ども相談センターは、市子ども相談課と北海道室蘭児童相談所苫小牧分室が入居する複合施設として児童相談の拠点となっていることから6月議会では、これまで児童虐待に関する対応件数や傾向、それぞれの役割、連携についてたどりました。

本市における児童虐待対応件数は、2023年度は156件、24年度は240件、25年度は228件で虐待者の多いのは実母、次いで実父であることが明らかとな

子どもを虐待から守るのに、理由はいらない。

＼ 情報提供や相談を!! / いちはやく

まずは連絡 189

匿名可能 通話無料 秘密厳守

※「児童相談所 虐待対応ダイヤル」お住まいの地域の児童相談所につながります※

子どもを守る、社会をめざして。

子どもみんなの ともだち 家庭庁

しつけ？ 体罰？ これってどっち？ [特設サイトでCHECK] → 子どもの虐待防止

りました。このことから市は身近な相談支援や継続的なソーシャルワークを担い、児童相談所は一時保護や心理判定などの専門的業務及びハイリスクケースへの対応を担うなどの役割分担により、きめ細かな連携支援体制を構築しているとしました。本市では 2023 年度から苫小牧分室への一時保護機能の設置を北海道へ要望し続けてきました。

今回、一時保護機能を 7 月から民間事業者へ委託する方針を北海道が示しましたが、今後は、増加傾向にある児童虐待に対応するための職員の増員が必要と考えます。

防災情報ツール

戸別受信機 5,000 台以上が在庫

北海道・三陸沖後発地震注意情報は、昨年 12 月 8 日の青森県東方沖 M7.4 の地震と今年 4 月 20 日の三陸沖 M7.7 の地震を受けて、これまで 2 回発表されました。この対応について、市危機管理室では防災ハンドブックへの掲載や出前講座、避難訓練などで周知してきましたがなかなか浸透していません。今後、防災行政無線の屋外スピーカーからの放送など具体的な周知を求めました。また、防災行政無線戸

別受信機は、避難行動要支援者や公共施設、介護福祉施設、保育施設等は無償貸与していましたが、2023 年度以降は要支援者全体へのフォローアップできていないことから「広報とまこまい」を通じて、無償貸与の対象を周知するとしました。

戸別受信機は、海岸沿いの「津波避難エリア」の世帯及び企業を対象に本年 5 月 11 日から無償貸与重点期間としましたが、対象者約 3,500 件に対して希望台数が 500 台でした。1 万台を購入しましたが、現在 5,000 台以上が在庫となっていることから無償対象範囲を拡大して貸与する方針を示しました。

【6 月定例会 一般質問】

- 1 震災対策
 - (1) 後発地震注意情報について
 - (2) 防災行政無線戸別受信機について
- 2 子ども、子育て支援
 - (1) 児童虐待の現状と課題について
 - (2) 児童育成支援拠点事業について
- 3 職員の時間外労働について
- 4 中東情勢に伴う公共工事等への影響について

市職員の時間外勤務

衝撃

年間で 1,212 時間

これまで市職員の時間外勤務について改善を求めてきました。2023 年度は、年間で 720 時間を超える時間外勤務をした正規職員が 6 人おり、最も多い職員は 853 時間でありました。今回の質疑で 2025 年度は、年間 720 時間を超える時間外勤務をした正規職員 8 人（前年度比 2 人増）で、最も時間外勤務の多い職員は 1,212 時間と衝撃の時間数であることが明らかとなりました。もはや時間外デットラインです。多い部局については、総合政策部、福祉部、健康子ども部、産業経済部であることから要因分析と改善を求めました。また、これまで各職場の所属長が労働時間を把握し、職員のワーク・ライフ・バランスの実現に努めるとしてはいますが、全く実現していないと指摘し見解をいただきました。

市側は、時間外勤務発生の要因は、以前と変わらず休日に行われる選挙事務やイベント対応のほか関連業務など担当する職員に時間外勤務が偏る傾向にあるとしました。休日に時間外勤務が集中することにより、本来の休日が確保されていない状況が生じることは、ワーク・ライフ・バランス実現という観点からも問題であることを認識しているとし、町田副市長は「長時間労働の是正が重要である」という認識は、現在も変わっていない。この状況を改善するため市が実施する事業の在り方を根本的に見直す。特にイベント業務は、民間事業者や関係団体等と連携を図りながら市と民間が担うべき業務の役割分担を明確にする」と長時間労働の是正を指導していくとしました。

動議を提出！

今議会の I R 質疑の中で金澤市長は、2019 年、自身が議長の時代に I R 誘致をするか否か・・・最終的に誘致することが採択されたと答弁しました。

私は、北海道に対して「I R 誘致に関する決議」を採択したものであって誘致を採択したとは市民大きな誤解を与えとして削除を求めました。

議会運営委員会で審議の結果、市長の発言内容は削除となりました。

《熱血現場主義》小さなことでも身近な問題を地域から発信します！

小山征三

検索

